

事業報告書（令和 2 年度）

事業名 SDGsユネスコ講座と絵画展

団体名 岡山ユネスコ協会 担当者名 阿川 信幸

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

① 第1回SDGsユネスコ講座（長泉寺）

2020年8月15日11時30分～14時、岡山市長泉寺で会員、一般参加者、ボランティアを含めて約50名の参加で開催。コロナ過であり感染防止対策を取り開催とした。「平和の鐘を鳴らそう」の後に赤羽正年さんに「岡山空襲体験談」をお話しして頂いた。その後Hatsumi & Iotoによる「祈りの音楽」を演奏した。



「平和の鐘を鳴らそう」の司会進行役を務めた高校生ボランティア



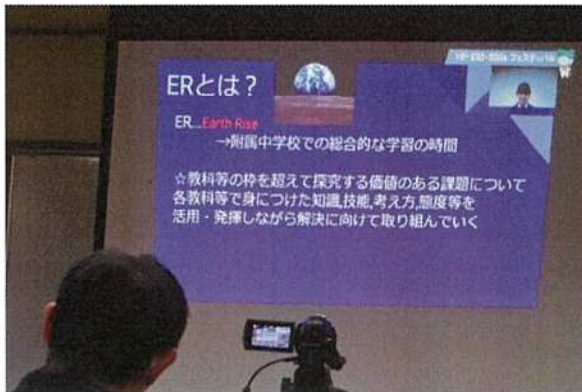
「岡山空襲体験談」を聞いている様子



「祈りの音楽」を演奏している様子

- ② 第2回SDGsユネスコ講座：10月にSDGsパスポート体験発表・展示を計画していたが新型コロナの影響を考慮し中止した。

代わりに2021年1月23日京山公民館で開催された「岡山市京山地区ESD・SDGsフェスティバル」にて岡山大学附属中学校が活動発表をVTRでYouTube配信した。また岡山ユネスコ協会の活動紹介ポスター展示を行った。



附属中学校によるYouTubeでの活動発表の様子



岡山ユネスコ協会の活動紹介展示の様子

(様式第8号)

③ 第3回SDGsユネスコ講座：コロナの影響で講演会は中止。

「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」を2021年1月5日～11日まで岡山県生涯学習センター1階展示スペースで開催した。22の小中学校から345点の応募作品があり、その中から選定した入賞作品を展示。(学年ごとに優秀賞、優良賞、佳作を選定。さらに日本ユネスコ協会連盟会長賞、岡山ユネスコ会長賞、三宅正勝賞の特別賞を選定)新型コロナウイルスの影響で例年実施していた入賞作品の表彰式は特別賞3名だけの表彰式とした。



「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」の様子



「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」表彰式の様子

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

「平和の鐘を鳴らそう」では高校生ボランティアを積極的に呼びかけて戦争体験談を聞いてもらうようにして若い世代に平和について考える場とした。(今回6名)

「SDGs パスポート体験発表会」では日本ユネスコ協会連盟が主体となって進めてきた「ユネスコ協会ESDパスポート事業」が2020年度から「ユネスコ協会SDGs パスポート事業」となり、各ユネスコ協会が主体に変わった。岡山では岡山経済同友会企業の協賛を得て、岡山独自のパスポートを作成、連携することで相乗効果を図った。

「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」では募集要項に「SDGsの趣旨を踏まえて、教育活動、地域おこし、町おこしも対象にする」旨追記した。

3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

「平和の鐘を鳴らそう」では高校生ボランティアに感想文を書いてもらった。今まで戦争について深く考えていなかったが平和の大切さと体験を伝えるということの意味を深く理解してもらった。また新型コロナという見えない敵と戦っている中で戦時中の危機感をもって自分と大切な人を守るために感染予防をしっかりとしなければとの思いを持った人もいた。感想文からはしっかりした考えが伝わり次代を担う若い人たちが頼もしく思えた。感想文は広く知ってもらうため要約して会報で周知した。

「SDGs 体験発表会」は中止となったが、代替としてYouTubeによる報告という新たな試みを実施することが出来た。今回の実績を踏まえて今後の取り組みを検討する。

尚、SDGs パスポートは以下のように23校7277人となっている。

		新規配布数	参加数
小学校	11校	1217部	1891人
中学校	12校	1672部	5886人
合計	23校	2889部	7277人

「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」ではSDGsの趣旨に沿った作品はまだ少なかった。趣旨の浸透に取り組む。

4. 今後の課題と展望

今年度から経済同友会の協賛を得て岡山ユネスコ協会独自で「SDGs パスポート事業」を推進した。学校、経済同友会等の連携を強化・充実していきたい。また岡山の実情に即したより効果的な事業(活動)展開を進めていきたい。

また、広報の方法についてYouTube等新たな方法について検討していきたい。